

(第一紙) T23p90a21~

- 1
2 十誦律二誦¹卷第七^{2,3} 十一^{4,5,6}
- 3 仏在舍衛国爾時有一婆羅門有女睽眼即
4 名睽眼夫家遣使來迎時女父母婆羅門言
5 小待作煎⁷「夫+并」⁸竟送時世飢餓是婆羅□□□
6 求煎⁷「夫+并」⁸具作「夫+并」⁹跋難陀積子常出入其家語¹⁰
7 大衆言隨¹¹所入舍汝等皆隨我入若我得食
8 汝等亦次第得時跋難陀¹²中前着衣持鉢入
9 婆羅門舍与坐処共相問訊樂不樂坐已¹³
10 法師有樂說辨¹⁴才為說種種妙法主人得法
11 味故作是言大德無有羹飲¹⁵能噉¹⁶「夫+并」¹⁷□答言
12 汝等尚噉我何以不能即与「夫+并」¹⁸持出第二¹⁹
13 比丘亦如是時餅器皆空夫家復更遣使喚
14 睽眼女婆羅門還遣使答言小待作煎²⁰「夫+并」²¹竟
15 送更求煎²²「夫+并」²³具時跋難陀復共徒衆來為說
16 種種法已復持「夫+并」²⁴去夫家第三復遣使來喚
17 睽眼女是婆羅門復答言小待作煎「夫+并」²⁵竟送

- 1 〔二誦〕一【大】 〔二〕の右傍に「第」（朱書）あり。
2 七二十三【大】 大正蔵に校注なし。「七」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「十三」（朱書）あり。
3 〔第二誦之七〕+【大】
4 〔十三〕一【大】 大正蔵に校注なし。「十」と「三」の中央に見せ消ち（朱点）あり。
5 〔後秦北印度三藏弗若多羅譯〕+【大】
6 〔九十波逸提之五〕+【大】
7 〔夫+并〕=餅【大】 CBETAの校注は、「〔夫+并〕【聖】【聖乙】*」となっている。
8 〔夫+并〕=餅【大】 大正蔵に校注なし。
9 〔夫+并〕=餅【大】 大正蔵に校注なし。
10 〔其〕+【大】
11 〔我〕+【大】
12 〔釈子〕+【大】 大正蔵の校注は、「〔釋子〕一〔聖乙〕*」となっている。
13 〔婆羅門一心恭敬問訊跋難陀跋難陀是大〕+【大】
14 辨=辯【大】 大正蔵に校注なし。「辨」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「辯」（朱書）あり。
15 飲=飯【大】 大正蔵に校注なし。
16 〔是〕+【大】
17 〔夫+并〕=餅【大】
18 〔夫+并〕=餅【大】
19 等=第二【大】
20 〔煎〕一【大】
21 〔夫+并〕=餅【大】
22 〔夫+并〕=餅【大】
23 〔夫+并〕=餅【大】
24 〔夫+并〕=餅【大】

18 時夫疑瞋言是或不復來彼更娶婦遣使語
 19 言我已娶婦²⁵莫復來婆羅門聞是語²⁶憂愁²⁷
 20 瞋言沙門積子乃爾不知厭足施者不知量
 21 受者忖知量我女²⁸先相愛念以是因緣今便
 22 棄去是人瞋恨不能自忍到祇桓向仏所欲
 23 說跋難陀事
 24 爾時仏与百千万衆圍遶²⁹說法漸漸近仏

(第一紙) T23p90b18~

1 以慈心力故彼瞋即除到仏所作是言世尊
 2 無有是法女人所貴重物我女已失仏為種
 3 種因緣說法示教利喜示教利喜已默然婆
 4 羅門聞仏種種因緣說法³⁰教利喜已頭面礼
 5 仏足右遶³¹而去去不久仏以是事集比丘僧
 6 知而故問跋難陀汝実作是事不答言実作
 7 世尊仏種種因緣³²呵³³責云何名比丘不知時
 8 不知量不知法若施者不知量受者忖知量
 9 仏但呵³⁴責而未結戒
 10 ³⁵仏故在舍衛國爾時舍衛城中有估客衆用
 11 沸星吉日欲出行他國有一估客是跋難陀³⁶
 12 相識³⁷是³⁸跋難陀常出入其舍時跋難陀中前
 13 着衣持鉢到其舍与坐処共相問訊樂不樂
 14 坐已估客³⁹心恭敬問訊跋難陀跋難陀是大
 15 法師有樂說⁴⁰辨⁴¹才為說妙法是人得法味故
 16 言大德無有羹飯但有⁴²行糧⁴³妙能噉不答言

25 【汝】 + 【大】

26 憂愁 || 愁憂 【大】

27 【婿】 + 【大】

28 遶 || 繞 【大】 大正蔵に校注なし。

29 【示】 + 【大】 大正蔵に校注なし。「教」の右上に「示」(朱書)あり。

30 遶 || 繞 【大】 大正蔵に校注なし。

31 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。

32 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。

33 【時】 + 【大】

34 【積子】 + 【大】

35 【是】 - 【大】

36 【一】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

37 辨 || 辯 【大】 大正蔵に校注なし。「辨」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「辯」(朱書)あり。

38 【道中】 + 【大】

39 元の字は「糧」。以下同じ。

- 17 汝等尚能^ら我何以不能即与餅^ち持出第二第
- 18 三比丘亦如是估客「麩一夫十并」^ち器皆空是估客往語
- 19 估客主言我所有行糧沙門积子悉持去盡
- 20 小待我更作糧食估客主言諸估客欲沸星
- 21 吉日去云何得住汝但辨^ち糧徐徐後來諸估
- 22 客在前去者衆多故賊不敢發是一估客辨^ち糧
- 23 已与少伴共入險道賊發奪物殺是估客如
- 24 是惡声流布諸国作是言积種比丘食他行
- 25 糧是估客險道為賊所殺一人語二人二人語

(第二紙) T23p90c15~

- 1 三人如是展転^ち諸沙門积子^ち惡名流布滿舍
- 2 衛城是中有比丘少欲知足行頭陀聞是事
- 3 心不喜向仏広説仏以是事集比丘僧知而
- 4 故問跋難陀汝実作是事不答言実作世
- 5 尊仏以種種因縁^ち責云何名比丘不知時
- 6 不知量不知汝^ち若施者不知量受者応知量
- 7 云何令是估客險道中為賊所殺種種因縁
- 8 呵^ち已語諸比丘以十利故与諸^ち比丘結戒從
- 9 今是戒応如是説
- 10 若比丘往白衣家自恣請多与餅麩諸比丘
- 11 須者応二三鉢取過是取者波逸提二三鉢
- 12 取已出外語余比丘令知^ち是事心爾家者白
- 13 衣家請多与者数数与「麩一夫十并」^ち者大^ち小麦麵作^ち粳

40 【噉】+【大】
 41 餅^ち麩^ち【大】
 42 「麩一夫十并」^ち麩^ち【大】
 43 辨^ち麩^ち【大】 大正蔵の校注は、(辨^ち麩^ち 聖乙) 下同) となっている。
 44 辨^ち麩^ち【大】
 45 【相語】+【大】
 46 【比丘】+【大】
 47 呵^ち【大】 大正蔵に校注なし。
 48 汝^ち法^ち【大】
 49 呵^ち責^ち【大】 大正蔵の校注は、(責^ち 聖乙) となっている。
 50 【諸】-【大】 大正蔵の校注は、(諸^ち 比丘 聖乙) * となっている。
 51 令知^ち共分^ち【大】 大正蔵の校注は、(共分^ち 令知 聖乙) * となっている。
 52 「麩一夫十并」^ち餅^ち【大】 CBETAの校注は、「麩一夫十并」^ち【聖乙】* となっている。
 53 【大】-【大】
 54 【大麥麵作】+【大】 大正蔵の校注の内容(大麥麵) - (聖乙) が間違えている。

- 14 米麵作大重華「麩一夫十并」⁵⁵小重華「麩一夫十并」⁵⁶如是比諸清淨
 15 「麩一夫十并」⁵⁷麩者稻作⁵⁸麦作⁵⁹鉢者有三種上中下上鉢
 16 者受三鉢他飯一鉢他羹余可食物半羹下
 17 鉢者受一鉢他飯半鉢他羹余可食物半羹
 18 中鉢者⁶⁰若上下中⁶¹是名中鉢出外語余比丘
 19 令知⁶²者謂眼所見波逸提者煮燒覆障若不
 20 悔過能障礙道
 21 是中犯者若比丘以上鉢取者應取一鉢不
 22 應取二鉢取二鉢波逸提若以中鉢取者極
 23 多取二鉢不應取三若取三者波逸提若以
 24 下鉢取者極多取三鉢不應取四若取四者
 25 波逸提出外見比丘与⁶³者善不与⁶⁴者突吉羅

(第四紙) T23p91a15~

- 1 <二十二ノ事⁶⁵竟>
 2 仏在舍衛国爾時長老迦留陀夷於夜闇時
 3 有小雨墮雷⁶⁶電光中入白衣舍乞食時是家
 4 中有一洗器女人出於電光中遙見迦留陀
 5 夷身黑見已驚怖身毛皆豎即大喚言鬼來
 6 鬼來以怖畏故即便墮胎迦留陀夷言姊妹
 7 我是比丘非鬼也乞食故來時女人瞋以麤
 8 惡⁶⁷不淨⁶⁸苦語⁶⁹諸⁷⁰比丘言使汝父母種種墮⁷¹死
 9 使是沙門腹破是⁷²禿⁷³斷種人着黑弊衣何不

55 「麩一夫十并」=餅【大】

56 「麩一夫十并」=餅【大】

57 「麩一夫十并」=餅【大】 大正蔵に校注なし。

58 作=麩【大】

59 作=麩【大】 大正蔵に校注なし。

60 「中鉢者」=【大】

61 「間」+【大】

62 令知=共分【大】 大正蔵の校注は、(共分=與(聖)〔聖乙〕*)となっている。

63 与=共分【大】

64 与=共分【大】

65 「事」=【大】

66 「声」+【大】 大正蔵に校注なし。

67 麤惡=惡語麤語【大】

68 「語」+【大】

69 諸=語【大】

70 父母種種墮=父死母死種姓皆【大】

71 「是」=【大】

72 「沙門」+【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 以利牛舌刀自破汝腹乃於是夜闇黒雷電
- 11 中乞食汝沙門乃作爾許惡我兒墮死令我
- 12 身壞迦留陀夷於是家起如是過罪故即便
- 13 出去以是事向諸比丘說諸比丘以是事向
- 14 仏広説仏以是事集比丘僧知而故問迦留
- 15 陀夷汝実作是事不答言実作世尊仏以種
- 16 種因縁呵⁷³責⁷⁴云何名比丘非時入白衣家乞
- 17 食仏言若比丘非時入白衣家何但得如是
- 18 是⁷⁵罪当復更得過於是罪從今諸比丘心一
- 19 食
- 20 爾時諸比丘以一食故羸瘦無色無力仏見
- 21 諸比丘羸瘦無色無力知而故問阿難諸比
- 22 丘何故羸瘦無色無力阿難答言世尊結戒
- 23 諸比丘心一食一食故諸比丘羸瘦無色無
- 24 力仏以是事集比丘僧種種因縁讚戒讚持
- 25 戒讚戒讚持戒已語諸比丘從今聽噉五種

(第五紙) T23p91b11~

- 1 佉陀尼自恣食五種者謂根莖葉磨果爾時
- 2 諸比丘入王舍城乞食時有白衣以羅⁷⁶蔔葉
- 3 胡綵⁷⁷葉羅勒葉雜食与諸比丘諸比丘不食
- 4 故不得飽滿復更羸瘦無色無⁷⁸力⁷⁹故問
- 5 阿難何以故諸比丘羸瘦無色無力阿難答
- 6 言世尊聽諸比丘噉五種佉陀尼食自恣受
- 7 諸比丘入王舍城乞食時有白衣以羅⁸⁰蔔葉
- 8 胡綵⁸¹葉羅勒葉雜食与諸比丘諸比丘不食
- 9 不得飽滿故羸瘦無色無力仏聞已語諸比
- 10 丘從今聽食五種⁸²食謂飯麩糲魚肉五種食
- 11 自恣受是諸比丘入王舍城乞食時諸白衣

⁷³ 呵⁷³ 訶【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁴ 是⁷⁴ 過【大】 大正蔵の校注の内容(過)一(聖)が間違えている。

⁷⁵ 羅⁷⁵ 蘆【大】

⁷⁶ 綵⁷⁶ 葵【大】

⁷⁷ 〔無〕一【大】 大正蔵に校注なし。

⁷⁸ 〔知〕+【大】

⁷⁹ 羅⁷⁹ 蘆【大】 大正蔵に校注なし。

⁸⁰ 綵⁸⁰ 葵【大】 大正蔵に校注なし。

⁸¹ 〔蒲闍尼〕+【大】

- 12 以蘆蔔葉胡⁸²綵⁸³葉羅勒葉雜食与諸比丘諸
- 13 比丘不食復不飽故羸瘦無色無力仏見諸
- 14 比丘羸瘦無色無力知而故問阿難何故諸
- 15 比丘羸瘦無色無力阿難答言世尊聽食五
- 16 種食諸比丘入城乞食時得蘆蔔葉⁸⁴故⁸⁵綵⁸⁶葉
- 17 羅勒葉雜⁸⁷似⁸⁸食与諸比丘諸比丘不食復不
- 18 飽滿故羸瘦無色無力仏言從今聽食五種
- 19 似食自恣随所雜謂糜粟穢麥莠子迦師飯
- 20 仏在維⁸⁹邪⁹⁰離爾時有一居士到仏所頭面礼
- 21 足一面坐仏見居士一面坐已与說種種法
- 22 示教利喜示教利喜已默然是居士聞仏種
- 23 種因縁示教利喜已從坐起合掌言願仏及
- 24 僧受我明日食仏默然受居士知仏默然受
- 25 已即礼仏足右⁹¹遶⁹²而⁹³還⁹⁴歸自舍通夜⁹⁵辨⁹⁶種⁹⁷種

(第六紙) T23291c09

- 1 多美飲食晨起敷⁹⁸坐⁹⁹處遣使白仏食具已
- 2 辨¹⁰⁰仏自知時諸比丘僧往居士舍仏自住房迎
- 3 食分居士知衆僧坐已自手行水自与種種
- 4 多美¹⁰¹飲¹⁰²食自恣飽滿爾時維¹⁰³邪¹⁰⁴離諸比丘多
- 5 病有看病比丘先於僧中食竟迎病比丘食
- 6 分去諸病比丘有食者有不食者有少食者
- 7 是看病比丘先已食從坐起更不得食諸
- 8 病比丘多有殘食棄僧坊内是時多有烏鳥
- 9 来噉是食作大音声仏聞寺内多有烏鳥声知
- 10 而故問阿難何故僧坊内多有烏鳥声阿難
- 11 答言世尊是維¹⁰⁵邪¹⁰⁶離諸比丘多有看病比

- 82 綵⁸² 綵⁸² 大正蔵に校注なし。
- 83 故⁸³ 故⁸³ 大正蔵に校注なし。
- 84 綵⁸⁴ 綵⁸⁴ 大正蔵に校注なし。
- 85 (似) 一 大
- 86 邪⁸⁶ 邪⁸⁶ 大正蔵に校注なし。
- 87 遶⁸⁷ 遶⁸⁷ 大正蔵に校注なし。
- 88 (去) + 大 大正蔵に校注なし。
- 89 辨⁸⁹ 辨⁸⁹ 大正蔵に校注なし。
- 90 坐⁹⁰ 坐⁹⁰ 大正蔵に校注なし。
- 91 辨⁹¹ 辨⁹¹ 大正蔵に校注なし。
- 92 飲⁹² 飲⁹² 大正蔵に校注なし。
- 93 邪⁹³ 邪⁹³ 大正蔵に校注なし。
- 94 邪⁹⁴ 邪⁹⁴ 大正蔵に校注なし。

- 12 丘先於僧中食竟迎病比丘食分來諸病比
- 13 丘有食者有不食者有少食者是看病比丘
- 14 先已食從坐処起更不得食諸病比丘多有
- 15 殘食棄僧坊内有烏鳥來噉是食故作大音
- 16 声仏以是事集比丘僧種種因縁讚戒讚持
- 17 戒讚戒讚持戒已語諸比丘從今以二利故
- 18 聽受殘食法一者看病比丘因縁故二者比
- 19 丘⁹⁵因縁食不足故以十利故与⁹⁵諸⁹⁵比丘結戒
- 20 從今是戒心如是説
- 21 若比丘食竟⁹⁷起去不受殘食法若噉食者波
- 22 逸提噉者五種法陀尼食者五種蒲闍尼五
- 23 種似食波逸提者煮燒覆障若不悔過能障
- 24 礙道
- 25 是中犯者若比丘食竟⁹⁸起去不受殘食法若

(第七紙) T23p92a11~

- 1 噉根食波逸提若噉莖葉磨果皆波逸提若
- 2 比丘食竟起去不受殘食法若食飯者波逸
- 3 提若食麩糲魚肉皆波逸提若比丘食竟⁹⁶起
- 4 去不受殘食法若食糜飯粟飯穢麥飯莠子
- 5 飯迦師飯皆波逸提⁹⁶殘食法¹⁰⁰諸比丘不知云
- 6 何受仏語諸比丘欲受殘食法者随所能食
- 7 多少盡着鉢中知余比丘食¹⁰²竟未起者從是
- 8 人辺徧袒胡跪捉鉢言長老憶念与我作殘
- 9 食法若前比丘不少多取是食者不名作殘
- 10 食法若用是受殘食法者¹⁰³若噉若食波逸提
- 11 若持鉢着地受殘食法者不名為受¹⁰⁴若用是
- 12 受殘食法者¹⁰⁵若噉若食波逸提若以鉢着膝

⁹⁵ [有] + 【大】

⁹⁶ [諸] - 【大】

⁹⁷ [有從坐処] + 【大】

⁹⁸ [從坐] + 【大】 大正蔵の校注は、(從坐) - (聖) (聖乙) * となっている。

⁹⁹ [從坐] + 【大】

¹⁰⁰ [從今聽受] + 【大】

¹⁰¹ [者] + 【大】

¹⁰² [未] + 【大】

¹⁰³ [者] - 【大】 大正蔵の校注は、(法 + (者) (聖乙) *) となっている。

¹⁰⁴ [殘食法] + 【大】

¹⁰⁵ [者] - 【大】

- 13 上受殘食法者不名為受若用是受殘食法
- 14 者若噉若食波逸提若相去遠手不相及受
- 15 殘食法者不名為受¹⁰⁶若用是受殘食法者若
- 16 噉若食波逸提若以不淨食受殘食法者不
- 17 名為受¹⁰⁷若用是受殘食法者¹⁰⁸若噉若食波逸
- 18 提若以不淨肉受殘食法者不名為受若用
- 19 是受殘食法者若噉若食波逸提若比丘欲
- 20 噉五種佉陀尼¹⁰⁹用五種蒲闍尼受殘食法者¹¹⁰
- 21 名為受若用是受殘食法者若噉若食波
- 22 逸提若欲食五種蒲闍尼¹¹¹用五¹¹²佉陀尼受殘食
- 23 法者不名為受若用是受殘食法者¹¹³若噉若
- 24 食波逸提若欲食五種似食¹¹⁴用五¹¹⁵蒲闍尼受
- 25 殘食法者不名為受若用是受殘食法者¹¹⁶若

(第八紙) T23p92b07~

- 1 噉若食波逸提若比丘受殘食法坐食余五
- 2 種食來若噉一一突吉羅
- 3 長老優波離問佉言世尊比丘行時幾処¹¹⁷自
- 4 恣住幾処坐幾処臥幾処¹¹⁸佉告優波離¹¹⁹比丘
- 5 行時五処¹²⁰自恣五処立五処坐五処臥行有
- 6 五処者知行知供養知遮食知種種食壞威
- 7 儀立有五者知立知供養知遮食知種種食
- 8 壞威儀坐有五者¹²¹知坐知供養知遮食知種
- 9 種食壞威儀臥有五者知臥知供養知遮食

106 〔殘食法〕 + 【大】
 107 〔殘食法〕 + 【大】
 108 〔者〕 - 【大】
 109 〔時〕 + 【大】 大正蔵の校注は、(〔時〕 - 〈聖乙〉*) となっている。
 110 〔不〕 + 【大】 大正蔵に校注なし。
 111 〔時〕 + 【大】
 112 〔種〕 + 【大】 大正蔵の校注は、(〔種〕 - 〈聖乙〉*) となっている。
 113 〔者〕 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 114 〔時〕 + 【大】
 115 〔種〕 + 【大】
 116 〔者〕 - 【大】
 117 行時幾処有^{||}幾処行時【大】
 118 住幾処坐幾処臥幾処^{||}幾住幾坐幾臥【大】
 119 〔五処〕 + 【大】
 120 〔五処〕 - 【大】
 121 者^{||}種【大】

- 10 知種種食壞威儀11語優波離若比丘行洗
- 11 口時有檀越与五種食比丘12噉13食14行
- 12 受殘食法不15立不16坐不17臥若立坐臥
- 13 当知壞威儀不18受殘食法若受者不名為
- 14 受若用是受殘食法若噉若食皆波逸提19彼
- 15 行洗口已有檀越与五種食比丘20噉21食
- 16 不22行受殘食法不23立不24坐不25臥若立
- 17 坐臥当知壞威儀不26受殘食法若受者不
- 18 名為受若用是受殘食法若噉若食波逸提27
- 19 彼行食時有檀越与五種食比丘28噉29食
- 20 不30行受殘食法不31立不32坐不33臥若立
- 21 坐臥当知壞威儀不34受殘食法若受者不
- 22 名為受若用是受殘食法若噉若食波逸提35
- 23 彼行食已有檀越与五種食比丘36噉37食
- 24 不38行受殘食法不39立不40坐不41臥若立
- 25 坐臥当知壞威儀不42受殘食法若受者不

(第九紙) T23p92c06~

- 1 名為受若用是受殘食法若噉若食1波逸提
- 2 若立坐臥亦如是不犯者若比丘言小住若
- 3 言日時早若噉2粥3若一切中4嚼食不犯5(三十／四事)
- 4 竟)
- 5 仏在舍衛國爾時憍薩羅國一住处有二比
- 6 丘是一比丘破戒缺漏無有慚愧不護細戒
- 7 第二比丘清淨持戒乃至小罪生大怖畏是
- 8 清淨比丘見彼犯罪常語彼言汝今犯如是
- 9 如是罪破戒比丘作是念我当何時見是犯
- 10 罪我当出之破戒比丘一時見持戒比丘食
- 11 已無自恚請6從坐起便持蒲闍尼佉陀尼喚

¹²² (若比丘) + 【大】 大正蔵の校注は、(若比丘) - (聖)* となっている。

¹²³ (若比丘) + 【大】

¹²⁴ (若比丘) + 【大】

¹²⁵ (皆) + 【大】

¹²⁶ 噉 || 嚼【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁷ (若飲) + 【大】

¹²⁸ 中 || 先【大】

¹²⁹ (故) + 【大】

- 12 来共¹³⁰。食持戒比丘不憶¹³¹。便共噉食破戒比丘
 13 言長老汝得波逸提¹³²。問言何等波逸提答言
 14 汝食已無自恣請便噉食持戒比丘言汝知
 15 我食已無自恣請者何故喚我食答言汝常
 16 数数出我罪時我作是¹³³。念何時見汝犯罪当
 17 即出之是故見汝食已無自恣請欲相惱故
 18 勸汝令食是中有比丘少欲知足行頭陀聞
 19 是事心不喜種種因緣呵¹³⁴。責云何名比丘知
 20 他食已無自恣請欲相惱故勸¹³⁵。勸令食種種
 21 因緣呵¹³⁶。已向仏広説仏以是事集比丘僧知
 22 而故問是比丘汝実作是事不答言実作世
 23 尊仏以種種因緣呵¹³⁷。責云何名比丘知他食
 24 已無自恣請欲相惱故勸¹³⁸。勸令食¹³⁹。種種因緣¹⁴⁰
 25 呵¹⁴¹。已語諸比丘以十利故与諸¹⁴²。比丘結戒從

(第十紙) T2393a09~

- 1 今是戒心如是説
 2 若比丘知比丘食已無自恣請欲相惱故¹³²。令
 3 食蒲闍尼佉陀尼以是因縁無異者波逸
 4 提知者若¹⁴³。自知若從他聞¹⁴⁴。若彼比丘自説噉
 5 者五種佉陀尼五食者¹⁴⁵。五種蒲闍尼五似食
 6 勸令食者勸¹⁴⁶。勸¹⁴⁷。食惱者以瞋恚心出其過

- 130 (噉) + 【大】
 131 (不噉食) + 【大】
 132 (罪) + 【大】
 133 是 || 自 【大】
 134 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。
 135 (勸) - 【大】 大正蔵に校注なし。
 136 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。
 137 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。
 138 (勸) - 【大】 大正蔵の校注の内容 (故 + (勸) (聖) (聖乙)) が正確ではない。
 139 (仏) + 【大】
 140 (因縁) - 【大】
 141 呵 || 訶 【大】 大正蔵に校注なし。
 142 (諸) - 【大】
 143 (勸) + 【大】
 144 (比丘) + 【大】
 145 聞 || 知 【大】
 146 (五食者) - 【大】
 147 勸 || 慫 【大】 大正蔵に校注なし。
 148 勸 || 令 【大】

- 7 罪波逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙
- 8 道
- 9 是中犯者若比丘見余比丘食竟無自恣請
- 10 教噉根食荖葉磨食果食若教食¹¹⁹蒲闍尼
- 11 飯麩糲魚肉若教食五似食糜粟¹²⁰麦莠子
- 12 迦師¹²¹飯者皆波逸提復有比丘教余比丘非
- 13 時噉¹²²若彼噉者俱波逸提有比丘教余比丘
- 14 非時食若彼食者俱波逸提有比丘教余比
- 15 丘偷奪他物若偷奪者隨物俱得罪有比丘
- 16 教余比丘奪人命若奪¹²³者俱波羅夷若比丘
- 17 教余比丘殺生草木若殺者俱波逸提若比
- 18 丘教余比丘拽他出房若拽出者俱波逸提
- 19 若比丘教余比丘強敷臥具若敷者俱¹²⁴波逸
- 20 提若比丘教余比丘用有蟲水灑草^和¹²⁵泥若
- 21 用者俱波逸提若比丘教余比丘取¹²⁶蟲水飲
- 22 若取¹²⁷者俱波逸提若比丘教余比丘与裸形
- 23 外道男女飲食若与者俱波逸提若比丘教
- 24 余比丘空地燃火若燃者俱波逸提若比丘
- 25 教余比丘自手取金銀若取者俱波逸提若

(第十一紙) T23p93b05~

- 1 比丘教余比丘奪畜生命¹²⁸奪者俱波逸提若
- 2 比丘教余比丘藏是比丘衣鉢若藏者俱波
- 3 逸提若比丘教余比丘自手掘地若掘者俱
- 4 波逸提若比丘教余比丘噉殘宿食若彼噉
- 5 者俱波逸提へ云大比丘未手受食而共食¹²⁹宿者名曰内／宿噉此¹³⁰者突吉羅已¹³¹受举共宿¹³²

¹⁴⁹〔種〕+〔大〕

¹⁵⁰糲糲〔大〕 大正蔵に校注なし。

¹⁵¹〔小麦〕+〔大〕

¹⁵²〔食〕+〔大〕

¹⁵³〔命〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁴〔得〕+〔大〕

¹⁵⁵和灑〔大〕

¹⁵⁶〔有〕+〔大〕

¹⁵⁷〔飲〕+〔大〕

¹⁵⁸〔若〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁹大正蔵の校注は、(食)一(聖)となつてゐる。

¹⁶⁰〔食〕+〔大〕

¹⁶¹〔手〕+〔大〕

¹⁶²〔者〕+〔大〕

大正蔵の校注は、(食)一(聖)となつてゐる。

名残宿食

- 6 〈噉此¹⁶³者／波逸提〉 〈三十五事竟〉
- 7 仏在王舎城爾時阿闍世王諸大臣將師¹⁶⁴信
- 8 提婆達是諸人民為助提婆達比丘作供養
- 9 前食後食怛鉢那諸有年少比丘出家不久
- 10 者提婆達以鉢¹⁶⁵拘鉢多羅大撻¹⁶⁶鉷¹⁶⁷衣
- 11 鉤禪鎮繩帶鉷¹⁶⁸鉷¹⁶⁹鉢支扇蓋革履隨比丘所
- 12 須物皆用¹⁷⁰誑誘¹⁷¹提婆達自共百比丘或二百
- 13 三百四百五百比丘恭敬圍遶¹⁷²入王舎城別
- 14 受好供養前食後食怛鉢那諸有上坐¹⁷³長老
- 15 比丘得仏法味久脩¹⁷⁴梵行是諸比丘入城乞
- 16 食得宿冷飯或不得或得臭麩或不得如是
- 17 飢食或飽不飽是有比丘少欲知足行頭
- 18 陀聞是事心不喜種種因緣呵¹⁷⁵責云何名比
- 19 丘自共百人二百三百四百五百比丘恭敬
- 20 圍遶¹⁷⁶別受供養前食後食怛鉢那諸有上坐¹⁷⁷
- 21 長老比丘得仏法味久脩¹⁷⁸梵行是諸比丘入
- 22 城乞食得宿冷飯或不得或得臭麩或不得
- 23 如是飢食或飽不飽種種因緣呵¹⁷⁹已向仏広
- 24 説仏以是事集比丘僧¹⁸⁰以種種因緣呵¹⁸¹責云
- 25 何名比丘自共百人二百三百四百五百比

(第十一紙) T23p93c01～

- 163 【食】+【大】
- 164 師¹⁶⁴帥【大】 大正蔵に校注なし。
- 165 拘¹⁶⁵鉤【大】 大正蔵に校注なし。
- 166 鉷¹⁶⁶瓷【大】 大正蔵の校注は、(瓷¹⁶⁶||鉷¹⁶⁶〈聖〉〈聖乙〉*)となっている。
- 167 鉷¹⁶⁷瓷【大】
- 168 鉷¹⁶⁸鉷¹⁶⁹匙筋【大】
- 169 【用】-【大】
- 170 【之】+【大】
- 171 遶¹⁷¹繞【大】 大正蔵に校注なし。
- 172 坐¹⁷²座【大】 大正蔵に校注なし。
- 173 脩¹⁷³修【大】 大正蔵に校注なし。
- 174 呵¹⁷⁴訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 175 遶¹⁷⁵繞【大】 大正蔵に校注なし。
- 176 坐¹⁷⁶座【大】 大正蔵に校注なし。
- 177 脩¹⁷⁷修【大】 大正蔵に校注なし。
- 178 呵¹⁷⁸訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 179 【仏】+【大】
- 180 呵¹⁸⁰訶【大】 大正蔵に校注なし。

- 1 丘恭敬圍遶¹⁸¹ 別受供養前食後食怛鉢那諸
- 2 上坐¹⁸² 長老比丘得仏法味久脩¹⁸³ 梵行是諸比
- 3 丘入城乞食得宿冷飯或不得或得臭麩或
- 4 不得如是飢食或飽不飽種種因縁¹⁸⁴ 已語
- 5 諸比丘從今以二利因縁故遮別衆食聽三
- 6 人共食一利者隨護檀越以憐愍故二利者
- 7 破諸惡欲比丘力勢故莫令惡欲人別作衆
- 8 別作法与僧共諍以十利故与¹⁸⁵ 諸¹⁸⁶ 比丘結戒
- 9 從今是戒応如是説
- 10 若比丘別衆食波逸提別衆食者極少乃至
- 11 四比丘共一処食波逸提者煮燒覆障若不
- 12 悔過能障礙道是中犯者若四比丘別衆食
- 13 波逸提若三比丘別共一処食第四人取食
- 14 分不犯
- 15 仏在王舎城爾時諸病比丘以乞食因縁故
- 16 共¹⁸⁷ 惱¹⁸⁸ 憔悴¹⁸⁹ 城中有居士見已問言汝等苦惱
- 17 邪¹⁹⁰ 答言苦惱何因縁故¹⁹¹ 我等有病以乞食因
- 18 縁故苦惱諸居士言汝等病者我今請汝諸
- 19 有病者来我舎食諸比丘言仏未聽病因縁
- 20 故別衆食諸比丘不知云何是事白仏仏以
- 21 是事集比丘僧種種因縁讚戒讚持戒讚戒
- 22 讚持戒已語諸比丘從今聽諸病比丘別衆
- 23 食從今是戒応如是説若比丘別衆食波逸
- 24 提除因縁因縁者病時病者若比丘風冷熱¹⁹⁰
- 25 是名為病是中犯者若比丘無病別衆食波

(第十一紙) T23p94a01~

1 逸提病¹⁹¹不犯

- 181 遶¹⁸¹ 繞¹⁸¹ 大正蔵に校注なし。
- 182 坐¹⁸² 座¹⁸² 大正蔵に校注なし。
- 183 脩¹⁸³ 修¹⁸³ 大正蔵に校注なし。
- 184 呵¹⁸⁴ 訶¹⁸⁴ 大正蔵に校注なし。
- 185 (諸) - 【大】
- 186 共¹⁸⁶ 苦¹⁸⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 187 憔悴¹⁸⁷ 憔悴¹⁸⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 188 邪¹⁸⁸ 耶¹⁸⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 189 (答言) + 【大】
- 190 (盛) + 【大】
- 191 (者) + 【大】

- 2 仏在舎衛国爾時諸比丘作衣時到是諸比
- 3 丘早起求染衣具薪草煮染漉出揚冷出所
- 4 染衣如是中間食時轉近行乞食不得因是
- 5 苦惱城中有居士見已問言汝等苦惱¹⁹²邪¹⁹³答
- 6 言苦惱何因緣故我等作衣時到早起求¹⁹³染¹⁹⁴
- 7 具薪草煮染漉出揚冷出所染衣如是中間
- 8 食時轉近乞食不得以是因緣故苦惱諸居
- 9 士言我今請汝諸作衣者来我舎食諸比丘
- 10 言仏未聽我為作衣故別衆食諸比丘不知
- 11 云何是事白仏仏以是事集比丘僧種種因
- 12 緣讚戒讚持戒讚戒讚持戒已語諸比丘從
- 13 今聽比丘作衣時到諸作衣者別衆食從今
- 14 是戒応如是説若比丘別衆食波逸提除因
- 15 緣因緣者病時作衣時是中犯者若比丘作
- 16 衣時未到別衆食波逸提作衣時到別衆食
- 17 不犯
- 18 仏在舎衛国爾時諸比丘從憍薩羅国遊行
- 19 向舎衛城彼国地平諸聚落遠遙看似近諸
- 20 比丘欲從前聚落乞食至聚落時日已中到
- 21 当乞食時日¹⁹⁵時¹⁹⁵已過諸比丘断食故苦惱是
- 22 聚落中諸居士見已問比丘言汝等苦惱¹⁹⁶邪¹⁹⁶
- 23 答言苦惱何因緣故我從憍薩羅国向舎衛
- 24 城遙看聚落謂近欲至乞食時日便過中不
- 25 得食故苦惱諸居士言我今請汝等諸欲行

(第十四紙) T23p94a26~

- 1 者来我舎食諸比丘言仏未聽行因緣故別
- 2 衆食諸比丘不知云何¹⁹⁷是事白仏仏以是事
- 3 集比丘僧種種因緣讚戒讚持戒讚戒讚持
- 4 戒已語諸比丘從今聽諸行比丘別衆食從
- 5 今是戒応如是説若比丘別衆食波逸提除

¹⁹² 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹³ (索) + 【大】

¹⁹⁴ (衣) + 【大】

¹⁹⁵ (時) - 【大】

¹⁹⁶ 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁷ (以) + 【大】

- 6 因縁因縁者病時作衣時行時行者極近至
 7 半由延若往若來是中犯者若比丘昨日來
 8 今日食者波逸提明日行今日食波逸提即
 9 日行極少半由延若來若往¹⁹⁸別衆食不犯
 10 仏在舍衛國爾時諸比丘從¹⁹⁹憍薩羅國載船
 11 向舍衛國是船行近聚落時諸比丘語船師
 12 言迴船向岸我欲乞食即迴船向岸諸比丘
 13 出船入聚落家家求食已出聚落食已洗
 14 手洗口洗鉢卷衣²⁰⁰囊中如是中間船去已遠
 15 諸比丘即從²⁰¹道行逐船值師子難虎豹²⁰²難熊
 16 羆難從非道去有棘刺竹刺刈草刺走逐船
 17 時脚痛苦惱是岸上有居士見已問比丘言
 18 汝苦惱邪²⁰³答言苦惱何因縁故我等先載船
 19 向舍衛國船近聚落我等語船師言迴船向
 20 岸我欲乞食即時向岸我等出船入聚落家
 21 家求食已出聚落食已洗手洗口洗鉢卷
 22 衣²⁰⁴囊中爾時船去已遠即從道行逐船值師
 23 子難虎豹²⁰⁵難熊羆難若從非道行有棘刺竹
 24 刺刈草刺走逐船脚痛苦惱諸居士言我今
 25 請汝諸船行者來我舍食諸比丘言仏未聽

(第十五紙) T23p94b23~

- 1 船行因縁故別衆食諸比丘不知云何²⁰⁶是事
 2 白仏仏以是事集比丘僧種種因縁讚戒讚
 3 持戒²⁰⁷讚持戒已語已語²⁰⁸諸比丘從今聽諸船
 4 行比丘別衆食從今是戒応如是説若比丘
 5 別衆食波逸提除因縁因縁者病時作衣時
 6 道行時船行時船行者極近至半由延若往

¹⁹⁸ 來若往 || 往若來若【大】 大正蔵の校注の内容 (往若來 || 來若往 (聖乙)) が正確ではない。

¹⁹⁹ 從 || 後【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁰ 【著】 + 【大】 大正蔵の校注は、(衣著 || 衣 (聖) (聖乙) *) となっている。

²⁰¹ 【歩】 + 【大】

²⁰² 豹 || 狼【大】 大正蔵の校注は、(狼 || 豹 (聖) (聖乙) *) となっている。

²⁰³ 邪 || 耶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁴ 【著】 + 【大】

²⁰⁵ 豹 || 狼【大】

²⁰⁶ (以) + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁷ (讚戒) + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁸ (已語) - 【大】 大正蔵に校注なし。

- 7 若来是中犯者若比丘昨日来今日食者波
- 8 逸提明日行今日食者波逸提即日行極少
- 9 半由延若往若来別衆食不犯
- 10 仏在王舎城爾時王舎城內有大衆集仏与
- 11 千二百五十比丘俱是中諸比丘入城乞食
- 12 諸居士但²¹⁰与二三比丘食更不能与即閉門
- 13 言極多誰能為与後來乞食比丘不得故苦
- 14 惱有居士見已問比丘言汝等苦惱²¹⁰邪²¹⁰答言
- 15 苦惱何因縁故諸比丘言是王舎城有大衆
- 16 集故諸比丘前乞食者二三人得諸居士即
- 17 閉門言是極多誰能為与我等後來乞食不
- 18 得是故苦惱諸居士言我今請汝諸有大衆
- 19 集因縁者来我舎食諸比丘言仏未聽大衆
- 20 集因縁故別衆食諸比丘不知云何是事白
- 21 仏仏以是事集比丘僧種種因縁讚戒讚持
- 22 戒讚戒讚持戒已語諸比丘從今聽諸比丘
- 23 有大衆集因縁者別衆食從今是戒応如
- 24 是説若比丘別衆食波逸提除因縁因縁者
- 25 病時作衣時道行時船上行時大衆集時大衆

(第十六紙) T2394c20~

- 1 集者極少乃至八人四旧比丘四客比丘²¹¹集
- 2 以是因縁故令聚落中諸居士不能供給諸
- 3 比丘飲食是中犯者若比丘減八人集時別
- 4 衆食波逸提若八人若過八人集時不²¹²狂
- 5 仏在王舎城爾時瓶沙王舅於阿耆維外道
- 6 中出家是舅作是念我外甥瓶沙王深敬仏
- 7 及弟子我為是王故当請仏及弟子作一食
- 8 是外道便入王舎城求米麵胡麻小豆諸居
- 9 士問言欲作何等答言我外甥深敬仏我欲
- 10 令歡喜故欲請仏及弟子作一食諸居士信

²⁰⁹ (能) + 【大】

²¹⁰ 邪=耶【大】 大正藏に校注なし。

²¹¹ (共) + 【大】

²¹² 狂=犯【大】

- 11 仏²¹³故多与米麵得已出²¹⁴見一比丘即便語言
- 12 汝能為我請仏及爾所弟子明日至我舍食
- 13 不比丘答言仏未聽²¹⁵受沙門別衆食彼言俱
- 14 是出家人何故不聽有何不可我亦不敬汝
- 15 等但為外甥敬仏欲令歡喜故為汝等作食
- 16 時外道作是念我当辨²¹⁶具飲食若仏与弟子
- 17 来者当与若不来者当用作酒自飲是比丘
- 18 不知云何²¹⁷是事白仏以是事集比丘僧種
- 19 種因縁讚戒讚持戒讚戒讚持戒已語諸比
- 20 丘從今聽沙門因縁故別衆食從今是戒応
- 21 如是説若比丘別衆食波逸提除因縁因縁
- 22 者病時作衣時道行時船行時大衆集時沙
- 23 門請時沙門者名阿耆維尼捷子老弟子略
- 24 説除仏五衆余出家人皆名沙門是中犯者
- 25 若沙門請比丘白衣手持食与²¹⁸受請不犯食

(第十七紙) T23p95a17~

- 1 者波逸提若白衣請比丘沙門手持食与是
- 2 比丘受請故突吉羅食者不犯若白衣請比
- 3 丘白衣手持食与受請故突吉羅食者波逸
- 4 提不犯者若沙門請沙門手持食与若受
- 5 請若食不犯〈三十六／事²¹⁹竟〉
- 6 仏在舍衛国爾時節日至諸居士²²⁰種種種²²¹好
- 7 飲食出城入園林中爾時十七群比丘自相
- 8 謂言可共到彼園中看去皆言可爾即日²²²洗
- 9 浴莊嚴面目香油塗髮着新淨衣到園林中
- 10 一処立看是十七群比丘端正妹²²³好多人敬

²¹³ 【法故】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

²¹⁴ 【城】 + 【大】

²¹⁵ 【我等】 + 【大】 大正蔵の校注の内容（「我等受」 - 〈聖乙〉）が正確ではない。

²¹⁶ 辨 || 辨 【大】

²¹⁷ 【以】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

²¹⁸ 【是比丘】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

²¹⁹ 【事】 - 【大】

²²⁰ 【辦】 + 【大】

²²¹ 【種】 - 【大】

²²² 日 = 自 【大】

²²³ 妹 || 妹 【大】 大正蔵の校注は、（妹 || 妹（聖乙）*）となっている。※聖語蔵本の字は「妹」にも見えず。

- 11 愛請²²⁴居士見共相謂言看是諸出家年少端正妹²²⁵好皆言実爾諸居士歡喜故持種種好
- 12 酒食与言汝能噉不答言汝等尚能我何以不能是十七群比丘多²²⁶飲食已醉乱迷悶食後
- 13 搖頭掉臂向祇桓作是言我等今日極好快
- 14 樂有福德無有衰惱今²²⁷時諸比丘在祇桓門
- 15 間空地經行聞是音声諸比丘問言汝今何
- 16 故言我等今日極快樂有福德無衰惱時十
- 17 七群比丘即広説上事是有比丘少欲知
- 18 足行頭陀聞是事心不喜種種因縁²²⁸責云
- 19 何名比丘非時飲食種種因縁²²⁹已向仏広
- 20 説仏以是事集比丘僧知而故問十七群比
- 21 丘汝実作是事不答言実作世尊仏以²³⁰種種
- 22 因縁²³¹責十七群比丘言云何名比丘非時
- 23 飲食種種因縁²³²已語諸比丘以十利故与

(第十八紙) T23p95b13~

- 1 諸²³³比丘結戒從今是戒応如是説
- 2 若比丘非時噉食波逸提非時者過日中至
- 3 地未了是中間名非時噉者五種佉陀尼食
- 4 者五蒲闍尼²³⁴五似食波逸提者煮燒覆障若
- 5 不悔過能障礙道是中犯者若比丘非時噉
- 6 根食波逸提若噉荖葉磨果皆波逸提若比
- 7 丘非時食飯麩糲魚肉皆波逸提若比丘非
- 8 時食五似食糜粟²³⁵麦莠子迦師皆波逸提
- 9 若比丘非時中非時想食波逸提非時中時
- 10 想食波逸提非時中疑食波逸提若時中非

²³⁴ 請^{||}諸【大】

²³⁵ 妹^{||}妹【大】 ※聖語藏本の字は「妹」にも見える。

²³⁶ [得] + 【大】

²³⁷ 今^{||}爾【大】

²³⁸ 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁹ 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁰ [以] - 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴¹ 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴² 呵^{||}訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴³ [諸] - 【大】

²⁴⁴ [若] + 【大】

²⁴⁵ 糲^{||}糲【大】 大正蔵に校注なし。

- 11 時想食突吉羅時中疑食突吉羅時中時想
- 12 食不犯〈三十七／事²³⁶竟〉
- 13 仏在舍衛國爾時有比丘名²³⁷上勝受乞食法
- 14 是人日日乞二分食一分即噉一分持還至
- 15 自房舍着石上曬明日洗手從淨人受噉爾
- 16 時仏共阿難遊行諸比丘房到是上勝比丘
- 17 房所見石上曬飯仏知故問阿難是石上何²³⁸
- 18 誰曬飯阿難答言世尊是房中有比丘名上
- 19 勝受乞食法乞二分食一分即噉一分持來
- 20 着石上曬明日洗手從淨人受噉是故曬飯
- 21 仏問阿難諸比丘噉拳宿殘²³⁹邪²⁴⁰答言実噉仏
- 22 以是事集比丘僧知而故問上勝比丘汝実
- 23 作是事不答言実作世尊仏以種種因縁²⁴¹
- 24 責云何名比丘噉拳宿殘食種種因縁²⁴²
- 25 已語諸比丘以十利故与²⁴³諸比丘結戒從今

(第十九紙) T23p95c10~

- 1 是戒応如是説
- 2 若比丘拳殘宿佉陀尼蒲闍尼噉者波逸
- 3 提拳殘²⁴⁴食宿²⁴⁵者²⁴⁶大比丘今日手所受食拳至
- 4 明日名拳²⁴⁶食宿²⁴⁷食者五種佉陀尼五種蒲闍
- 5 尼五似食波逸提者煮燒覆障若不悔過能
- 6 障礙道是中犯者若比丘噉拳宿根食波逸
- 7 提若噉莖葉磨果皆波逸提若食拳宿飯麩
- 8 糲魚肉皆波逸提若食拳宿²⁴⁸糜²⁴⁹粟²⁴⁹麥²⁴⁹莠²⁴⁹子
- 9 迦師飯皆波逸提若比丘樹生淨地垂在不淨

²³⁶ [事] - 【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁷ [曰] + 【大】

²³⁸ 何||阿【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁹ [食] + 【大】

²⁴⁰ 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴¹ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴² 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴³ [諸] - 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁴ 食宿||宿食【大】 大正蔵の校注は、(宿食||食宿〈聖乙〉*)となっている。

²⁴⁵ [若] + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁶ [殘] + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁷ 食宿||宿食【大】 大正蔵の校注は、(宿食||食宿〈聖乙〉*)となっている。

²⁴⁸ 糜||糜【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁹ 糲||糲【大】 大正蔵に校注なし。

10 地若果墮不淨地若比丘內宿噉是果者突
 11 吉羅若樹生不淨地垂在淨地若果墮淨地
 12 若比丘以草竹葉以瓦取是果拏宿明日噉
 13 者波逸提若比丘樹生淨不淨地若果在³⁵²竹
 14 上若墮維多羅枝上摩留多枝上取果內宿
 15 噉者突吉羅〈淨地法仏／在時已捨〉 (三十八／事³⁵³竟)

16 仏在舍衛國爾時長老摩訶迦羅受一切
 17 糞掃物法是人持糞掃僧伽梨鬱多羅僧安
 18 陀衛糞掃鉢糞掃杖糞掃革屣糞掃食云何
 19 持糞掃僧伽梨若巷中若死人処糞掃中有
 20 段弊衣取持水上淨浣治作僧伽梨鬱多羅
 21 僧安陀衛亦如是糞掃鉢者若巷中死人処
 22 糞掃中有棄弊器取持水上洗治受用糞掃
 23 杖者若巷中死人処糞掃中棄杖取持水上
 24 洗治畜用糞掃革屣者若巷中死人処糞掃
 25 中有棄革屣取持水上淨洗縫治畜用糞掃

(第1十紙) T23296a05~

1 食者若巷中死人処糞掃中有棄蘿蔔葉胡
 2 綵³⁵²葉羅勒葉若臭糞自手取持至水上淨洗
 3 治已便食是名糞掃食是長老受死人処住
 4 法樂住死人処若國中有疫病死時便不入
 5 城求食但噉死人所棄飲食若無疫病死時
 6 則入城求食是比丘身體肥大多脂血肉強
 7 壯多力是比丘一時入城求食守門人見作是
 8 念言是比丘有疫病死時不入城求食無
 9 疫病時便來入城是比丘身體肥大多脂血
 10 肉強壯多力此人必噉人肉一人語二人二人
 11 語三人如是展轉惡名流布滿舍衛城言
 12 沙門釈子噉人肉是中有比丘少欲知足行
 13 頭陀聞是事心不喜向仏広説仏以是事集
 14 比丘僧以種種因縁³⁵³呵責云何名比丘不從

²⁵⁰ 在=墮【大】

²⁵¹ 【事】一【大】

²⁵² 綵=萎【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵³ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。

- 15 他受飲食着口中但呵責而未結戒是長
- 16 老摩訶迦羅得世俗禪定受死人処住法樂
- 17 住死人処
- 18 爾時舍衛国一居士親里死送向死人住処
- 19 諸居士見是比丘言此是噉人比丘我等今
- 20 日送是死人親里去後必當為比丘所噉棄
- 21 死人已諸居士屏処立看是比丘作是念是
- 22 中所有菜葉干糲莫令烏鳥來汚即起往守
- 23 諸居士言是比丘起已去已近已取已食已
- 24 諸居士定謂沙門积子噉人肉一人語二人

(第十一紙) T23p96a29~

- 1 二人語三人如是展轉惡名流布滿舍衛城
- 2 沙門积子実噉人肉是有比丘少欲知足
- 3 行頭陀聞是事心不喜向仏広説仏以是事
- 4 集比丘僧種種因縁呵責云何名比丘不
- 5 受食着口中種種因縁呵已語諸比丘以
- 6 十利故与諸比丘結戒從今是戒応如
- 7 是説
- 8 若比丘不受食着口中波逸提不受食者
- 9 不從男女黃門二根人受波逸提者煮燒覆
- 10 障若不悔過能障礙道是中犯者若比丘不
- 11 受飲食着口中波逸提隨所着口中口口波逸
- 12 提爾時諸比丘聞仏結戒欲洗口須水揚枝
- 13 求淨人受不時得辛苦諸比丘不知云何是
- 14 事白仏以是事集比丘僧讚戒讚持戒
- 15 讚戒讚持戒已語諸比丘從今是戒応如是
- 16 説若比丘不受食着口中波逸提除水及揚
- 17 枝

²⁵⁴ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁵ (有) + 【大】

²⁵⁶ 干=乾【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁷ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁸ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁹ (諸) - 【大】

²⁶⁰ (爾) + 【大】

²⁶¹ 揚=揚【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶² (以) + 【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 是中犯者有五種若是食²⁶³非時不与不受不
- 19 作淨不淨非時者過日中後至地未了是名
- 20 非時不与者若男女黃門二根人不与是名
- 21 不与不受者不從他受若男女黃門二根人
- 22 是故名不受不作淨者不作火淨刀淨²⁶⁷淨
- 23 鸚鵡（口十佳十乃）淨是名不作淨不淨者是飲食不淨
- 24 若与不淨食和合若比丘非時不与不受不

（第二十一紙） T23p96b23～

- 1 作淨不淨噉此食者五種罪若時不与不受
- 2 不作淨不淨噉此食者四罪若時与不受不
- 3 作淨不淨噉此食者三罪若時与受不作淨
- 4 不淨噉此食者二罪若時与受作淨不淨噉
- 5 此食者一罪若時与受作淨淨噉此食者不
- 6 犯²⁶⁵〈三十九／事²⁶⁶竟〉
- 7 仏在迦維羅衛國爾時²⁶⁷積摩男²⁶⁷往詣仏所
- 8 頭面礼仏足一面坐仏以種種因縁²⁶⁸説法²⁶⁸示教
- 9 利喜示教利喜已默然²⁶⁹積摩²⁶⁹男聞仏種種
- 10 因縁²⁷⁰説法²⁷⁰示教利喜已從坐起合掌白仏言
- 11 願仏及僧受我明日請仏默然受知仏受已
- 12 礼仏足右²⁷¹邊²⁷¹而去還自舍通夜²⁷²辨²⁷²種種多美²⁷³
- 13 食煮菓草乳汁²⁷⁴辨²⁷⁴已早起敷坐処遣使白仏
- 14 食具已²⁷⁵辨²⁷⁵唯聖知時仏及衆僧往入其舍就
- 15 坐²⁷⁶而坐²⁷⁷積摩²⁷⁷男見仏坐已自手行水自²⁷⁸与²⁷⁸糲

²⁶³ 【食】一【大】

²⁶⁴ 抓＝爪【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶⁵ 〔不淨食中噉拳殘宿不淨食波逸提人肉不淨偷蘭遮大比丘手觸不淨噉者突吉羅〕＋【大】

²⁶⁶ 〔事〕一【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶⁷ 積摩男＝摩訶男積【大】

²⁶⁸ 〔説法〕一【大】 大正蔵の校注は、（説法）十示教（聖乙）＊となっている。

²⁶⁹ 積摩＝摩訶【大】 大正蔵の校注は、（摩訶男＝積摩男（聖乙）＊）となっている。

²⁷⁰ 〔説法〕一【大】

²⁷¹ 邊＝繞【大】 大正蔵に校注なし。

²⁷² 辨＝辦【大】

²⁷³ 〔飲〕＋【大】

²⁷⁴ 辨＝辦【大】

²⁷⁵ 辨＝辦【大】

²⁷⁶ 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁷⁷ 積摩＝摩訶【大】

²⁷⁸ 〔手〕＋【大】

- 16 米飯香菓乳汁爾時六群比丘以菓乳汁澆
 17 粳米飯盛滿鉢置²⁸⁷前更望得²⁸⁸積摩²⁸⁹男作是念
 18 誰食²⁹¹誰²⁹²不食誰少²⁹³誰²⁹⁴不少作是念已便²⁹⁵見六
 19 群比丘盛滿鉢²⁹⁶乳汁澆飯置²⁹⁷前不食問言²⁹⁸何
 20 故不食答言有生乳不²⁹⁹積摩³⁰⁰男言是菓草乳
 21 汁香美並食有生乳者当更相与又問有酪
 22 不有熟³⁰¹蘇³⁰²生³⁰³蘇³⁰⁴油魚肉脯不答言是乳香美
 23 用好菓草煮並可³⁰⁵食有酪³⁰⁶乳³⁰⁷蘇³⁰⁸生³⁰⁹蘇³¹⁰油魚肉
 24 脯者当与³¹¹六群比丘瞋語³¹²積摩³¹³男言汝欺³¹⁴佞
 25 誑佞及僧汝不能³¹⁵辨³¹⁶好飲食者何以請佞及

(第十一紙) T23p96c22~

- 1 僧若余人請者当随意与多美飲食如此熟
- 2 乳何処不²⁹⁹有³⁰⁰是³⁰¹積摩³⁰²男性善不瞋不驚諸行
- 3 食人嫉妬瞋³⁰³言³⁰⁴沙門积子自言善好有德是
- 4 積摩³⁰⁵男深敬佞及僧云何現前³⁰⁶呵³⁰⁷罵佞見
- 5 諸比丘作是惡事為諸白衣所³⁰⁸呵³⁰⁹見已默
- 6 然

279 〔在〕＋【大】 大正蔵に校注なし。

280 積摩＝摩訶【大】

281 〔誰〕－【大】 大正蔵の校注は、(誰)＋不(聖)〈聖乙〉*となっている。

282 〔誰〕－【大】

283 〔看〕＋【大】 大正蔵に校注なし。

284 〔香菓〕＋【大】

285 置＝在【大】

286 大正蔵の校注は、(言)－(聖)となっている。

287 積摩＝摩訶【大】

288 蘇＝酥【大】 大正蔵の校注は、(酥＝蘇)〈聖乙〉*となっている。

289 〔有〕＋【大】

290 蘇＝酥【大】

291 〔有〕＋【大】

292 〔用〕＋【大】

293 乳＝熟【大】 SATのFootnoteの内容(熟＝柔)〈聖乙〉(聖乙)が間違えている。

294 蘇＝酥【大】

295 蘇＝酥【大】

296 〔諸〕＋【大】

297 積摩＝摩訶【大】

298 辨＝辦【大】

299 有＝得【大】

300 積摩＝摩訶【大】

301 言＝恚【大】

302 〔訶〕＋【大】

303 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

304 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

- 7 爾時**积摩**³⁰⁵男以多美飲食与衆僧自恣飽
- 8 滿見拳鉢已自手行水取小床坐仏前欲聽
- 9 說法仏以種種因縁說法示教利喜示教利
- 10 喜已從坐起去爾時仏食後以是事集比丘
- 11 僧以種種因縁**呵**³⁰⁶責六群比丘云何名比丘是
- 12 **积摩**³⁰⁷男深敬仏法³⁰⁸僧現前以**僂語呵**³⁰⁹罵種種
- 13 因縁**呵**³¹⁰已語諸比丘以十利故与**諸**³¹¹比丘結
- 14 戒從今是戒応如是説
- 15 若比丘不病白衣家中有如是美食乳酪生
- 16 **蘇**³¹²**熟蘇**³¹³油魚肉脯自為索如是食者波逸提
- 17 家者白衣舍名家美飲食者乳酪生**蘇**³¹⁴**熟蘇**³¹⁵
- 18 油魚肉脯病者風発冷発熱発若噉此食者
- 19 病差除是³¹⁶名³¹⁷不病波逸提者煮燒覆障若不
- 20 悔過能障礙道
- 21 是中犯者若比丘不病自為索乳得者波逸
- 22 提不得突吉羅不病自為索酪生**蘇**³¹⁸**熟蘇**³¹⁹油
- 23 魚肉脯得者波逸提³²⁰突吉羅**不病**³²¹不病自為
- 24 索飯羹菜得者突吉羅不得³²²亦突吉羅若索
- 25 酪汁酪漿酪滓得者突吉羅不得³²³亦突吉羅

(第十四紙) T23p97a21~

- 1 不犯者若病若親里若先請若不索自与不

305 积摩＝摩訶【大】
 306 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。
 307 积摩＝摩訶【大】
 308 【衆】＋【大】
 309 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。
 310 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。
 311 【諸】－【大】
 312 蘇＝酥【大】 大正蔵に校注なし。
 313 蘇＝酥【大】 大正蔵に校注なし。
 314 蘇＝酥【大】
 315 蘇＝酥【大】
 316 (因縁)＋【大】
 317 (曰)＋【大】
 318 蘇＝酥【大】
 319 蘇＝酥【大】
 320 (不得)＋【大】
 321 (不病)－【大】
 322 (者)＋【大】 大正蔵の校注は、(者)－(聖)〈聖乙〉*となっている。
 323 (者)＋【大】

2 犯〔四十事³²⁴ 第ノ二誦竟

3

4 十誦律³²⁵ 卷第七³²⁶

5

6 皇后藤原氏光明子奉為

7

尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈

8

從一位橘氏太夫人敬写一切經論及律

9

莊嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥

10

助永庇菩提之樹長遊般若之津

11

又願上奉 聖朝恒延福寿下及

12

寮采共盡忠節又光明子自發誓言

13

弘濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩

14

提乃至伝灯無窮流布天下聞名持

15

卷獲福消災一切迷方会帰覺路

16

天平十二年五月一日記

17

18

19

20

21

(後補軸付紙)

大正八年十一月修理之

帝室博物館総長 (医学博士ノ文学博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)

³²⁴ 事ニ竟【大】 大正蔵に校注なし。

³²⁵ (二誦)一【大】 大正蔵に校注なし。「二」の右傍に「第一(朱書)あり。

³²⁶ 七ニ十三【大】 大正蔵に校注なし。「七」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「十三(朱書)あり。